

台湾調査情報 パンフレット

磯永吉小屋

台湾大学正門を抜け、舟山路と呼ばれる脇道へ。校舎が林立し、自転車や徒歩の学生たちが行き交うエリアを抜けると、急に目の前に広い田畑が広がります。これが台湾大学農芸学部の実験農場です。

そして実験田の隣りに通称「磯小屋」、正式には農芸学部の「育種準備室」と呼ばれる建物が見えてきます。MRT 公館駅から台大のキャンパスを歩いて 15 分ほど。遠くに台北 101 が見えます。



築 80 年以上という磯小屋は台湾大学の建築物の中でも最古参。台北高等農林学校、台北帝国大学、国立台湾大学と移り変わる歴史を見つめてきました。

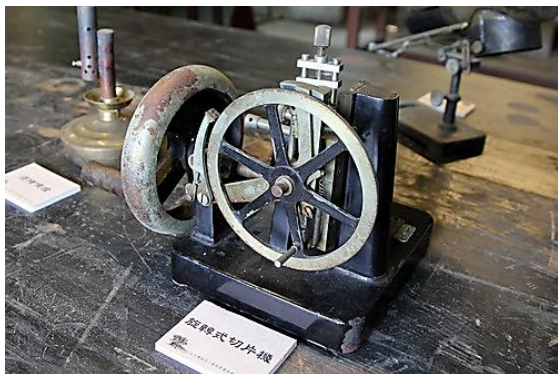
磯永吉は台北帝大教授と中央研究所農事試験場の技師を兼任していました。在りし日の磯は、この小道を歩いて帝大と試験場(台大は現在の基隆路を挟んだ向かい側にあった)を往復する日々を過ごしていたのでしょう。入り口では、許文龍が製作した磯永吉と末永仁の胸像が迎えてくれます。

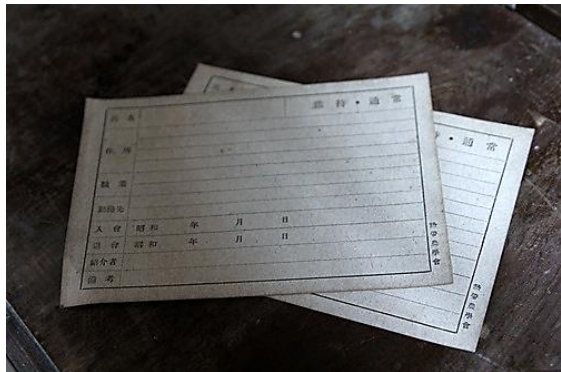
室内には磯が実験で使った道具、米のサンプル、タイプライターなどが展示されています。

一般公開は毎週水・土・日、参観時間は午前 9:30～12:00、午後 1:30～4:00 まで。

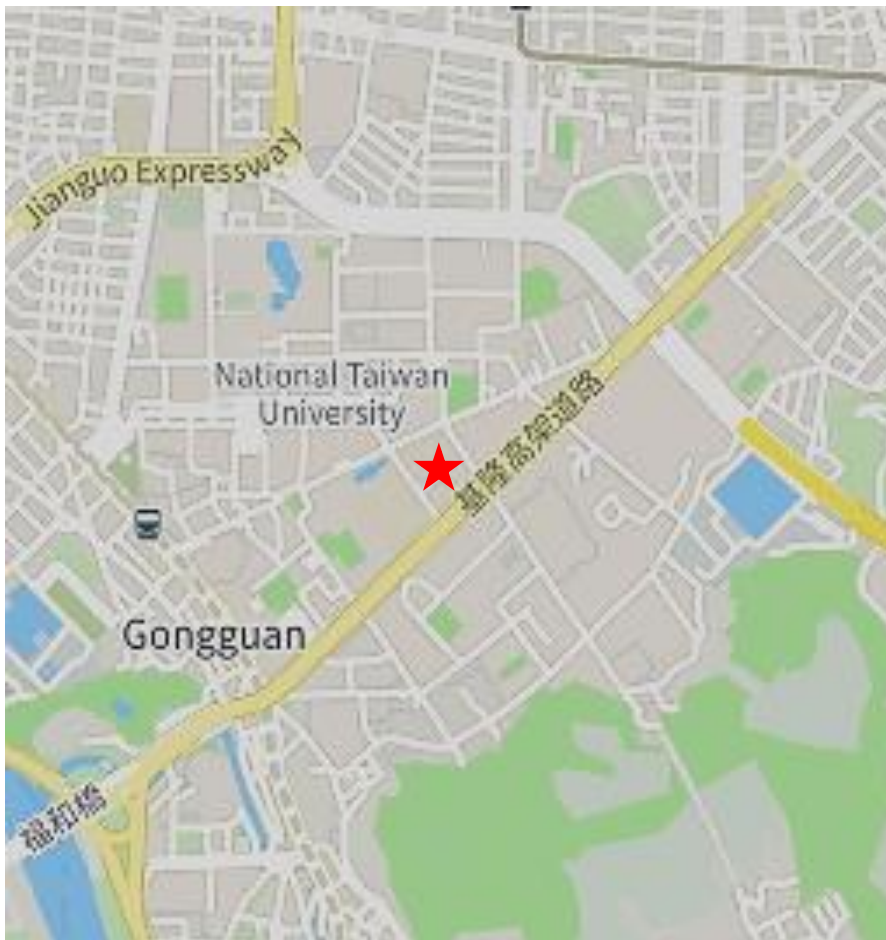


磯永吉の胸像は、蓬莱米の種籾が栽培された陽明山の竹子湖にも置かれています。こちらには蓬莱米の原種田を管理する事務所の建物が今も残っています。





ところで、蓬莱米はご飯としてだけでなく、台湾の国民的ビール「台湾ビール」にも使われているのです。世界中ほとんどのビールで、原料に米が加えられているため、決して珍しいことではないのだとか。ただ、原料表記を「米」とせず、なぜか「蓬莱米」と記載してあるのは謎です。



關於 磯永吉小屋



臺大舊高等農林學校作業室(磯永吉小屋)坐落於臺北市基隆路4段42巷臺大農場內, 建於1925年, 為臺北帝大前身－臺北高等農林學校實習農場最早期之建物, 亦是臺北帝國大學乃至臺灣大學早期農業研究之重要基地。

此建築經年累積大量日據時期迄今之農業研究器材、書籍文件、文書用具與家具等, 足以見證臺灣農業科技發展之歷程, 極富科學史研究價值, 臺北市政府已於2009年7月28日將本建築公告為直轄市定古蹟。

磯永吉小屋蘊含著豐富而感人的事蹟, 臺大農藝系的師生將竭盡心力保存及活化此建物, 讓一代又一代的臺灣人有機會向我們的子孫述說這裡曾經發生的感人故事, 激勵後進承繼先人志業, 持續引領新世代農業的開創。

支持磯小屋

有意捐款贊助「磯永吉小屋活化工程」者, 請將款項捐入:

華南商業銀行台大分行

解款行代號: 0081544

戶名:國立台灣大學磯永吉學會

帳號:154100090303

捐款後請將捐款單據傳真至 02-23620879, 或將影本郵寄至台北市羅斯福路四段1號臺灣大學農藝系李文雅小姐收, 我們會為您處理後續收據事宜。

臺大農藝系感謝您

電話: 02-33664796

E-mail: wenya@ntu.edu.tw





臺灣蓬萊米的誕生地



磯永吉博士 Dr. Eikichi Iso

本建物建於 1925 年 02 月 28 日，係日治時期臺北帝國大學前身「高等農林學校」之作業室，前臺北帝國大學日籍教授、人稱「臺灣蓬萊米之父」的磯永吉博士，曾在此進行選育蓬萊米品種之相關研究。光復後交由臺灣大學農藝系使用至今，並於 2009 年 07 月 28 日經臺北市政府文化局公告為直轄市定古蹟。

Workshop of Advanced Academy of Agronomy and Forestry ---Incubator of Taiwan Ponlai Rice

This building was built on Feb 28, 1925, when Taiwan was under Japanese colonial rule, and was the workshop of the Advanced Academy of Agronomy and Forestry (the predecessor of Taihoku Imperial University). Dr. Eikichi Iso, a former professor of Taihoku Imperial University and also the "Father of Taiwanese Japonica rice (Ponlai Rice)," worked in this building when breeding and selecting Japonica rice varieties. This building is designated as a municipal historic site by the Department of Cultural Affairs, Taipei City Government on July 28, 2009.



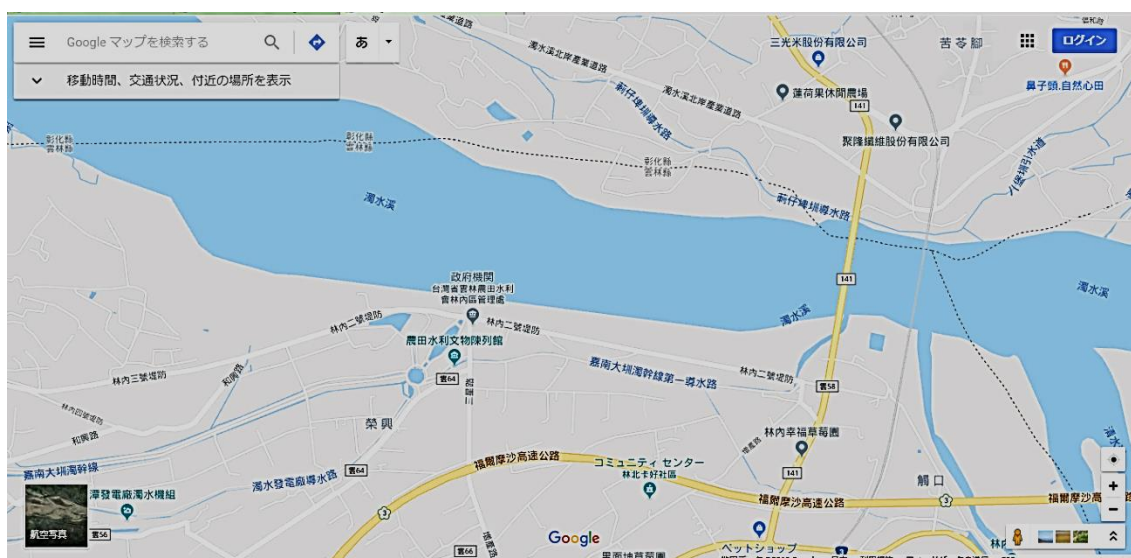
農田水利文物陳列館

雲林縣林內鄉林中村三星路 9-2 號 電話:(05)5324126#135

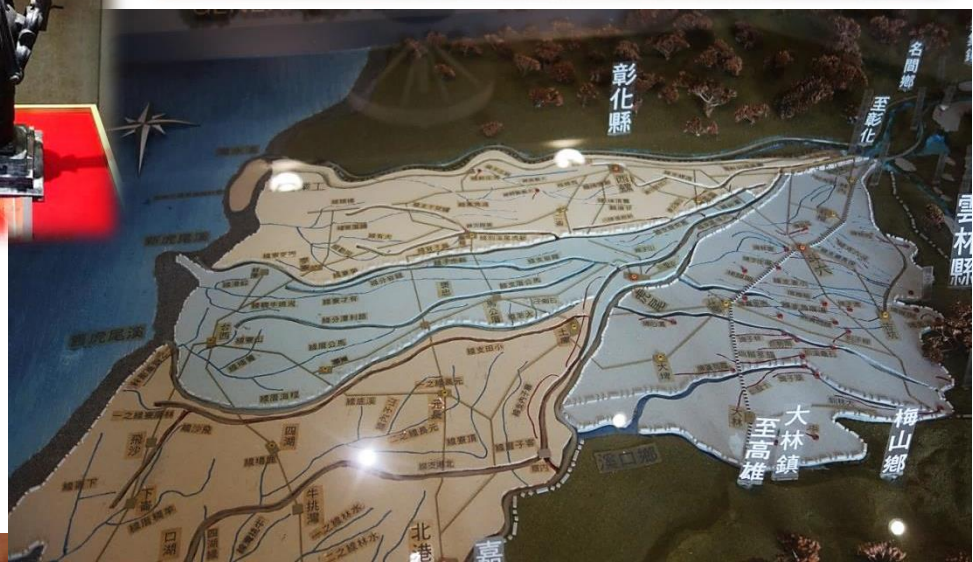
館內參觀 僅接受學校或機關團體申請。

個人參觀開放時間, 訂於每週一、三、五下午 1:30 至 4:30。

館外參觀 採開放式參觀



陳列館は、濁水溪からの取水地点に位置しており、嘉南大圳濁幹線と濁水発電導水路へ導水される。



【室內展示】

多媒體簡報室

多媒體簡報為十五分鐘影片，並配有國、台、客、英及日等五種語言影音簡介選擇，並圖文示農田水利演進發展史。

一樓中庭展示

1. 雲林農田水會灌溉區域模型
2. 大禹治水圖文頌揚大禹的豐功偉業
3. 嘉南大圳之父八田與一紀念室
4. 早期水利文獻及工程儀器
5. 水的循環圖

傳統水利展示室

1. 以圖片或模型展示早期人力或簡易引水設施輸送水設備攔水設備等
2. 電漿電視視將整個集集共同引水工程的起緣計畫內容作完整介紹
3. 按鍵式影音簡介重要水利工程

二樓器具展示

1. 旋轉梯懷舊照片
2. 懷舊電話農家器具文物及照片展示

農耕器具展示室

1. 農耕器具(包括牛犁手耙牛擔風鼓車機器桶摔桶等)
2. 農家生活器具(農家日常生活所使用的器具)
3. 房屋式樣(農村早期住宅及現代農舍之圖文介紹)

現代水利示室

1. 水資源介紹
2. 地下水及補助水源之開發
3. 量水設備
4. 省水管路灌溉
5. 藉由圖文及聽筒音控瞭解天然災害情形
6. 如 921 地震。八七水災

【室外展示】

以水利設施動態模型展示為主題，並配合周邊景觀配置古農具。

一.水利動態模型

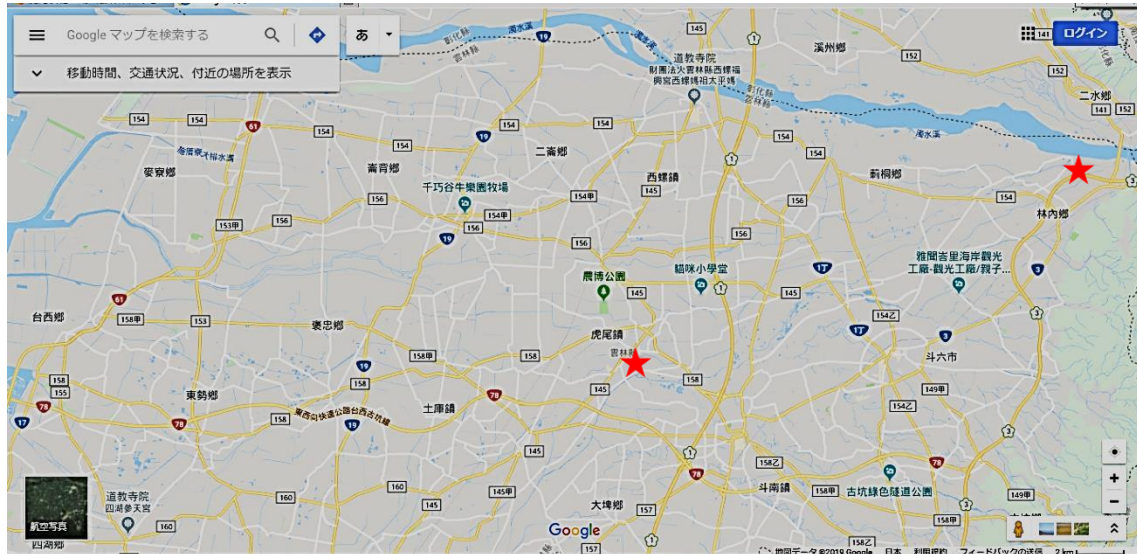
1. 濁水溪流域介紹
2. 水庫水源攔河堰引水工程
3. 輸送水設備
4. 農地重劃農水路配置圖
5. 親子公園

二.古農器具展示

1. 地下水井
2. 牛車。農夫雕塑像。古亭。染布石。石製花生。甘蔗輪
3. 石椿臼圓形。方形
4. 早期水車

台糖虎尾製糖工場

雲林縣虎尾鎮中山路 2 號 (05)6321540#353or252



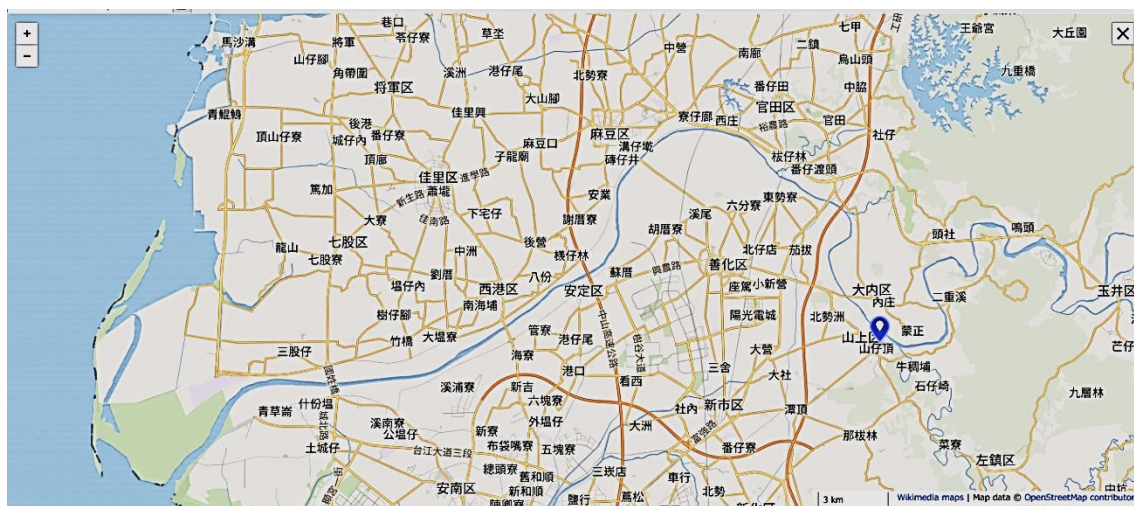
旧台南水道、山上花園水道博物館

台南県山上郷山上里 16 号 886-6-5998092

1895 年より日本の統治がはじまると、水道インフラ整備は台湾総督府における環境衛生事業の最重点事業となった。旧台南水道は曾文溪から当時の台南市域に良質な飲料水を供給するためのもので 1912 年に台湾総督府が帝国議会の予算承認を経て 10 万人分の供給能力をもつ上水道建設がはじまった。水源地には往時の弁公室(オフィス)、量水器室や送水、浄水施設、発電室が保存されているほか、設計・建設に従事した日本人技師浜野弥四郎の像、皇太子時代の裕仁親王が植樹したリュウキュウマツや老樹数十本が残されている。豊かな生態系が維持されている園内は水源地区と浄水池区に二分され、総面積 56 万 7,801.25 平方メートルに及ぶ。水源地区は 36 万 7,124.25 平方メートル、浄水地区は 20 万 677 平方メートル。

1897 年に台湾総督府衛生顧問となったスコットランド人お雇い技師のウィリアム・K・バルトン(W. K. Burton)と、助手としてバルトンの東京帝国大学講師時代に教え子だった日本人土木技師の浜野弥四郎が、台湾主要都市で風土病や伝染病を予防すべく上下水道インフラ整備のため各地の整備計画に従事し、台南でも水源、水質、実地調査が行われ、急速濾過方式による建設を具申した。

1912 年、第 28 回帝国議会で台湾総督府の予算案が承認され、263 万円の事業費を投じて事業が始動した。当初の工期は 4 年だったが第一次世界大戦の影響で資材価格が高騰、予算が 433 万円に増額、工期も 7 年延期されて 1922 年に竣工、10 月 31 日に水の供給を開始した。計画供給能力は 10 万人で当時の台南州台南市の人口 8 万人を賄うには充分だった。



水源地 山上区山上里16号の曾文溪南岸。面積は約22ヘクタール。水源地の正門には台南水道設計に携わった浜野弥四郎の像がある。

博物館区(修復中) 2018年末に山上花園水道博物館としてオープンする予定。自来水博物館としては台北市の旧台北水道に次いで国内2例目。

濾過器室と水道弁公室(濾過器室與水道辦公室) 急速濾過室はイギリス積みによる赤レンガの西洋建築。壁体内部は棒鋼で補強されている。室内は14基のドイツ製急速濾過槽が配置されている。L字型で建築面積は約1,310平方メートルの煉瓦平屋建て。

送水ポンプ室(送出唧筒室) 建築面積は約510平方メートルの平屋建て。内部は煉瓦、外部は鉄筋コンクリートの梁と柱が用いられている。屋根は木造。

急速濾過室(快濾池室) 建築面積は約102平方メートルの地上一階、地下一階。1952年に増築された木造建築物。

浜野弥四郎像 台南水道実地調査時に部下だった八田與一は浜野の功績を称えようと台南水道の山上水源地に銅像設置を呼びかけ、1921年に建立、第二次世界大戦中に金属供出令により撤去も、その後、台南の実業家で奇美実業創業者の許文龍が、浜野の胸像を製作、寄贈した。

山上花園 水源地内最南端の公園。約12.7ヘクタール。皇太子による植樹はここで行われた。戦前はゴルフ場、戦後は苗圃、2016年に台南市政府農業局により山上花園となった。

宿舎区 水源地区南西角にあり敷地全体は1.3ヘクタールで3棟の職員宿舎があった。

浄水池 土で覆われ、植樹された浄水池の地上面は铸铁製の通気管が整然と配されている。

铸铁製の通気管 別名「山仔頂浄水池」とも。山上区新莊里新莊59之18号の小高い丘にあり、水源地からは約1km離れている。面積は約20ヘクタール。2013年に修復工事が完了。蝙蝠が棲息。

量水器室 1922年竣工の赤煉瓦と鉄筋コンクリート混合建築。24平方メートルの平屋建て。旅客諮詢中心(ビジターセンター)として使われている。

浄水池室 1952年に増強された施設。地下に65メートル×28メートル×深さ5メートル、1,820立方メートルの水槽がある。屋外の外周は天然石と人造石の2種を組み合わせた塀で囲われ、トーチカ形状の铸铁製通気管が地表から露出している。現在は蝙蝠生態保育室として使われている。



曾文水庫、曾文溪

台南市楠西区密枝里 70 号 (曾文ダム管理センター)+886-6-575-3251

平日及び冬季(11 月～3 月)8:00～16:45 休日及び夏季(4 月～10 月)8:00～17:45

一般 100 元、優待 50 元

自家用車:国道 3 号→官田システムインターチェンジで降りる→省道台 84 線→省道台 20 線→省道台 3 線→県道 174 線→曾庫道路

(参考) 曾文ダムの概要

昭和 48(1973)年完成

形式 ロックフィルダム

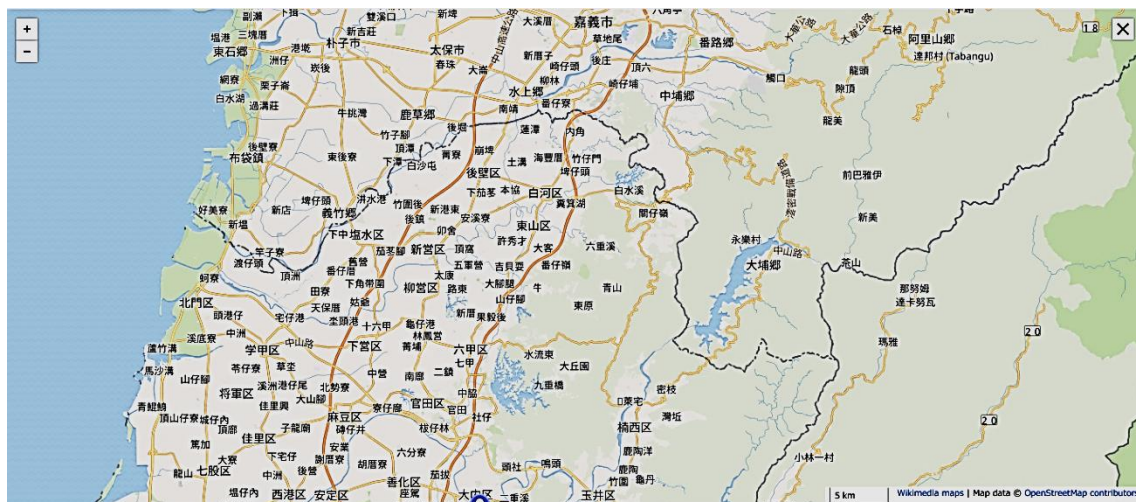
高さ 133m 堤頂長 400m

堤体積 930 万 m³

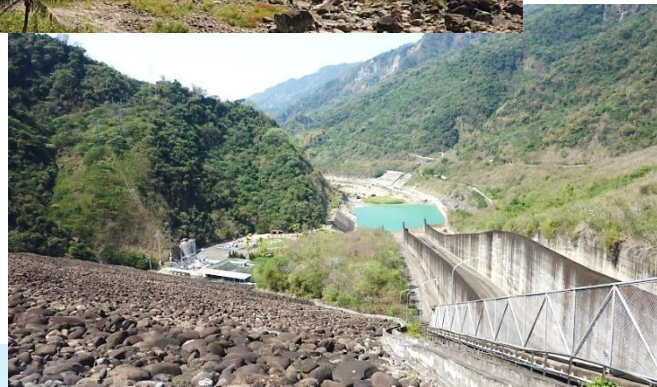
設計洪水量(洪水吐能力) 9,640m³/s

総貯水容量 7 億 m³

貯水池面積 17.1km²



曾文溪(延長 138.5 km、流域面積 1,176.7 km²)は台湾で 4 番目に長い。嘉義県阿里山郷の阿里山山中に源を発し、台南市を横断、台南市安南区と七股区の境を流れて台湾海峡に注ぐ。曾文溪水系は豊富な水力資源を有しており、台湾最大のダムである曾文ダム(曾文水庫)や、支流に南化ダム、烏山頭ダムなどがあり、用水補給、水力発電のほか重要な観光資源にもなっている。曾文溪から多くの養分を含んだ水が海に流れることにより、河口周辺では豊富な底棲生物とプランクトンが育まれ、多くの水鳥が生息している。貴重な鳥類のクロツラヘラサギが河口の北岸に生息し、七股クロツラヘラサギ保護区が設置された。1938 年、堤防ができる前に、幾度も流路の変更が記録され、「青瞑蛇」(盲目の蛇)と呼ばれた。



烏山頭水庫、烏山頭ダム記念館、八田與一紀念公園

台南市官田區嘉南鄉 68-2 號 (06)698-2103・698-6388

(参考) 烏山頭ダムの概要

昭和 5 (1930) 年完成

形式 スリム型アースダム

(セミ・ハイドロリック・フィル工法)

高さ 56m 堤頂長 1,273m

堤体積 1,100 万 m^3

総貯水容量 1.5 億 m^3

貯水池面積 13.0 km^2





嘉南大圳、嘉南農田水利会(管理所)

台南市友愛街 25 號 No.25, YU-AI ST, Tainan, Taiwan. 電話:(06)220-0622

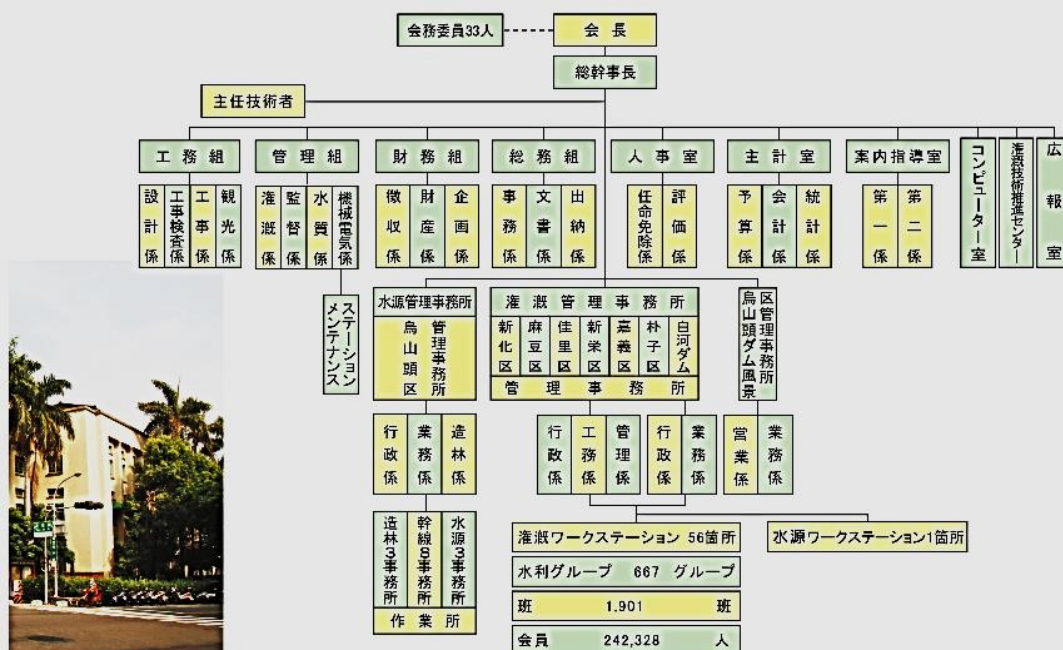
自然環境

嘉南農田水利会の灌漑区域は台湾の西南部にある嘉南平原に位置します。東は中央山脈から、西は台湾海峡に面し、北は北港溪から、南は二仁溪まで、東西幅約71 km、南北に約86 kmの平坦な土地です。嘉義、台南の計三つの県や市を跨り、亜熱帯気候に属し、年平均気温は 21~24 ℃、年平均降水量は 1,600ミリメートルです。降水量の80%が5月から9月の間に集中しています。

沿革

1. 嘉南平野は、広大な平地かつ温暖な気候なことから農業に適しています。しかし、1920年以前までは十分な灌漑施設がなく、農民は、近くの河川から水を引き入れ灌漑していました。灌漑面積は僅か5,000haであり、農業の生産量もごく僅かでした。
2. 1920年9月、「公共埤圳官田溪埤圳組合」が設立され、烏山頭ダムの設計施工が開始されました。
3. 1921年4月、「公共埤圳嘉南大圳組合」に名称変更。
4. 1927年6月、濁幹線の灌漑システムが完成、1930年3月、烏山頭ダム及び灌漑システムが完成しました。全灌漑面積は140,000haに増え、このエリアで3年に一作の蓄水制灌漑が実施されました。
5. 1943年12月、組織改編により、「嘉南大圳水利組合」に名称変更。1944年6月、新豊、新化、新営、嘉義、斗六、虎尾など計6つの水利組合（現名：一般灌漑区）と合併しました。灌漑面積は180,000haに増えました。
6. 1946年1月、「嘉南大圳水利組合接管委員会」が接管管理する。1946年11月、組織改編により「嘉南大圳水利協會」に変更。
7. 1947年9月、当会より斗六灌漑区分分立し、斗六農田水利協會が設立されました。後の組織改編により、斗六農田水利会となりました。当会の灌漑面積は150,000haに減少しました。
8. 1948年1月、組織改編により「嘉南大圳水利委員会」と名称変更。
9. 1956年12月、組織改編により「台湾省嘉南農田水利会」と名称変更。
10. 1975年1月1日より「台湾省加速農村建設時期健全農田水利會実施要点」により、農田水利会は政府に接管管理され、会員代表の選挙は一時的に停止し、会長は地方政府により任命されました。そして、雲林県内の49,276haが分立され斗六、竹山農田水利会に合併され雲林農田水利会が設立しました。灌漑面積は94,764haに減少しました。
11. 1982年6月1日、政府による接管管理が終了し、農民自治団体型の公共法人に戻りました。会長は会員の代表により選出され、任期は4年、会長の連任は一期のみです。
12. 1994年6月1日、「農田水利会組織規則」に従い、会務委員と会長は政府により任命されます。任期は4年、会長の連任は一期のみです。
13. 2002年6月1日、「農田水利会組織規則」により、会長と会務委員は会員により直接選出され、任期は4年、会長の連任は一期のみです。
14. 2013年1月1日、「台湾嘉南農田水利会」に名称変更。

組織図

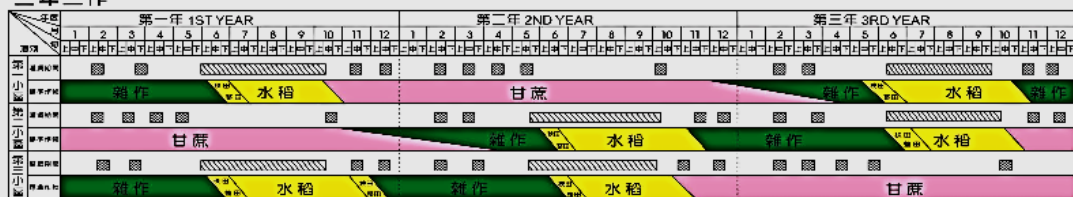


灌溉制度與耕作方式 (灌溉制度と耕作方式)

曾文－烏山頭水庫灌區耕作方式與灌溉制度標準圖

(曾文-烏山頭ダム灌漑区の耕作方式と灌漑制度の標準図)

三年二作



甘蔗 → 雜作 → 水稻 → 雜作 → 水稻 → 甘蔗 → 以下順序反覆

サトウキビ → 雜作 → 綠肥 → 雜作 → 雜作 → サトウキビ → 以下繰り返す

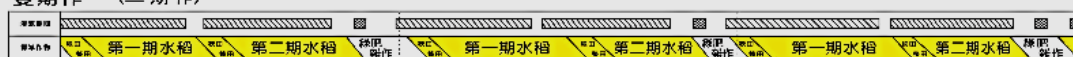
連植甘蔗 (サトウキビの連作)



新植甘蔗 → 宿根甘蔗 → 雜作 → 新植甘蔗 → 以下順序反覆

新植サトウキビ → 雜作 → 綠肥 → 雜作 → 新植サトウキビ → 以下繰り返す

雙期作 (二期作)



綠肥 → 水稻 → 水稻 → 綠肥 → 以下順序反覆

綠肥、雜作 → 雜作 → 雜作 → 綠肥、雜作 → 以下繰り返す

單期作 (一期作)



雜作 → 綠肥 → 水稻 → 雜作 → 以下順序反覆

雜作 → 綠肥、雜作 → 雜作 → 雜作 → 以下繰り返す

農田水利會任務 (農田水利会の任務)

- 農田水利事業之興辦、改善、保養及管理事項。
- 農田水利事業災害之預防及搶救事項。
- 農田水利事業經費之籌措及基金設立事項。
- 農田水利事業效益之研究及發展事項。
- 農田水利事業配合政府推行土地、農業、工業政策及農村建設事項。
- 主管機關依法交辦事項。
- 農業水利事業之推進、改善、点検および管理。
- 災害時における灌漑施設の緊急修理と被災の防止。
- 灌漑事業のための経費の調達と基金の設立。
- 灌漑収益の開発と研究。
- 政府の農地、農業と工業政策および農村建設に伴う利水工事との調整。
- 所管機関によって割り当てられた事項の遂行。

灌溉面積 (灌漑面積)

單位：公頃 單位：ヘクタール

灌區別 (灌漑区)	(耕作パターン) 耕作別	三年二作田 (三年二作区)	兩期作田 (二期作区)	單期作田 (一期作区)	輪作田 (輪作区)	蔗作田 (サトウキビ区)	合 計
三年輪灌區 (3年輪灌区)		34,960	12,622	2,186	—	7,037	56,805
併用灌漑區 (併用灌漑区)		—	5,915	613	—	—	6,528
一般灌漑區 (一般灌漑区)		—	4,414	6,390	346	—	11,150
合 計		34,960	22,951	9,189	346	7,037	74,483

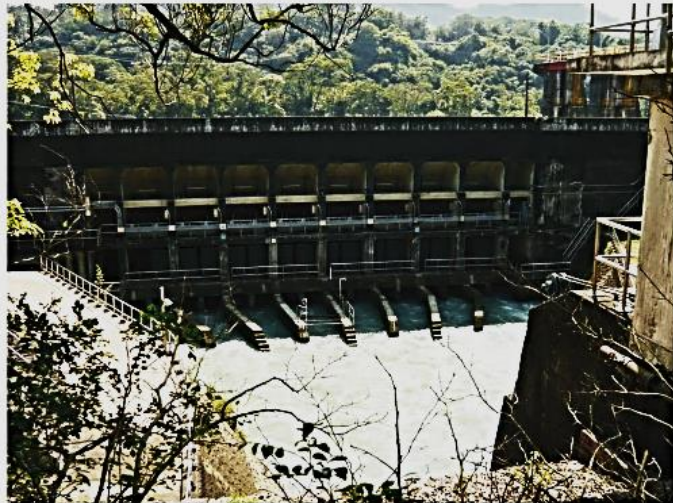
註：民國 103 年 注 2014 年

灌漑時期および用水量基準値

作物別	灌漑時期	灌漑水量	備考
夏秋季の中間作と第二期作水稲	1.育苗期:育苗センターより苗代が提供、水の提供は無し 2.代掻き期:6月上旬から7月下旬 3.本田期:6月上旬から10月下旬	代掻き期水深:0.135 m 本田灌漑率:平均1,067 ha/c.m.s	
秋季サトウキビ	10月中旬から10月下旬	中小給水ゲートに0.120 m	
冬季サトウキビ、雑作物	11月中旬から11月下旬	中小給水ゲートに0.120m	
第一期作水稲	1.育苗期:育苗センターより苗代が提供、水の提供は無し 2.代掻き期:1月下旬から2月上旬 3.本田期:1月下旬から5月中旬	代掻き期水深:0.140 m 本田灌漑率:平均956 ha/c.m.s	
春季一回目サトウキビ、雑作物	2月下旬から3月上旬	中小給水ゲートに0.120m	
春季二回目サトウキビ、雑作物	3月下旬から4月上旬	中小給水ゲートに0.120m	
春季三回目サトウキビ	5月上旬から5月中旬	中小給水ゲートに0.120m	

灌漑水源（灌漑の水源）

- 1.水庫：曾文水庫、烏山頭水庫、白河水庫、虎頭埤、徳元埤、内埔子埤、鹽水埤、番子田埤等大小水庫埤池共有37座。
- 2.河川取水口：道將圳、中興圳、柳子溝圳、許縣圳等114處。
- 3.地面水補助水源：由河川、排水路等設施取水口，抽水機或自然導入方式取水供作補助灌漑共80處。
- 4.地下水補助水源：開鑿地下深淺井，抽水補助灌漑深井共40口。



・東口取水口

- 1.ダム：曾文ダム、烏山頭ダム、白河ダム、虎頭貯水池、徳元貯水池、内埔子貯水池、鹽水貯水池、番子田貯水池など大小様々な規模のダムや貯水池が計37箇所。
- 2.河川における取水口：道將用水路、中興用水路、柳子溝用水路、許縣用水路など114箇所。
- 3.補助水源（河川等）：河川や排水路等からポンプや自然流入等によって水を引いて灌漑するための施設が計80箇所。
- 4.補助水源（地下水）：地下水を利用して灌漑するための浅深井戸が計40箇所。

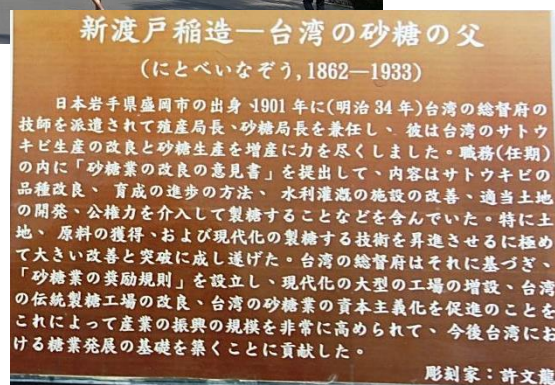
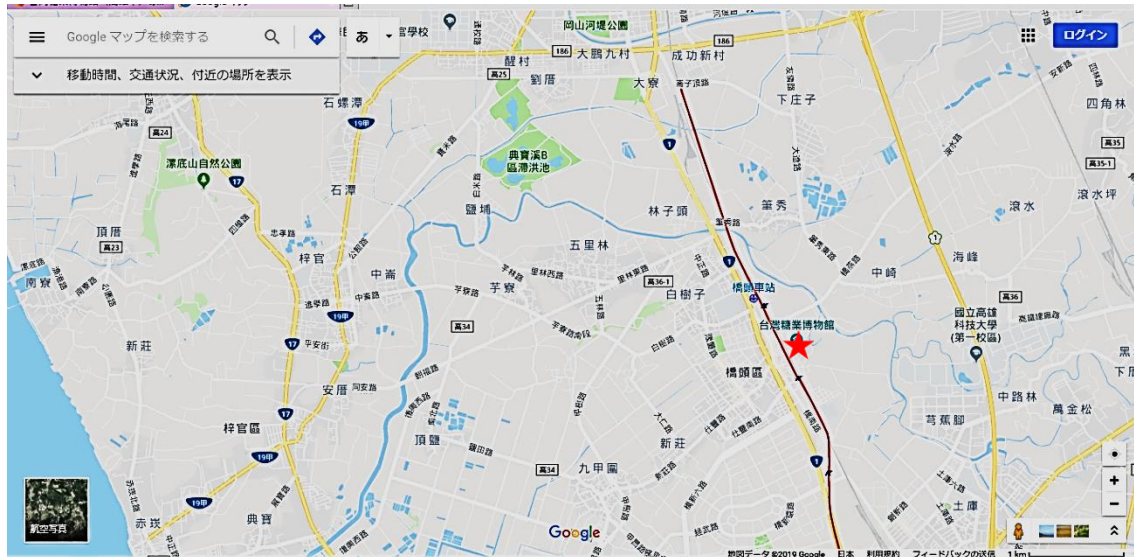
会員の負担

農田水利会の会費は、農田水利会組織規則の第25条に従い、灌漑と排水設備の改良により利益を得る方々から会費を徴収します。現在、これらの会費は、徴収されるまでは、政府の予算から補助金によって賄われています。

台湾糖業博物館

高雄市橋南里糖廠路 24 号 (07)611-3691

9:00~17:00 年中無休



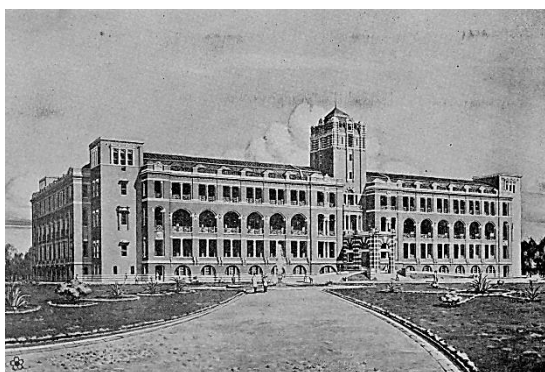




台湾總督府庁舎

台湾への入植が本格化すると、それまで清国が行政庁舎としていた巡撫衙門と布政使司衙門では手狭となったことから、これに代わる台湾總督府にふさわしい新庁舎の建設が急務となった。後藤新平の提唱により、明治 40 年（1907 年）5 月に台湾總督府新庁舎の設計懸賞が官報により告知され、日本初の正式な設計コンペとなった。總督府の土木局局长の長尾半平、建築家の辰野金吾、伊東忠太、野村一郎らの審査により、甲賞は該当者なく、乙賞に辰野の弟子だった長野宇平治の基本設計案が選ばれ、これが採用されることになった。

ただ長野の設計案は装飾の少ない新古典主義建築で、中央の塔も低く、總督府としての象徴性に乏しいという批判があったため、辰野の助言に基づいて中央塔の高さを 60 メートルに延長したのをはじめ、森山松之助など總督府宮繕課所属の建築家によってさまざまな変更・装飾が加えられた。大正 8 年（1919 年）の完成時には、赤レンガ造の建造物としては日本一背が高いものになった。施工にあたっては耐震・耐熱帯気候の工夫が随所に施されたほか、塔には台湾初のエレベーターを設置したり、防火のために館内は禁煙として建物の四隅に喫煙室を設けたりと、当時として画期的な試みが導入された。上空から見ると、日本の“日”の字が読み取れる。



乙賞となった長野宇平治の台湾總督府庁舎案 完成直後の台湾總督府庁舎

第二次大戦時には爆撃と火災によって中央塔はじめ建物の大部分が損壊したが、改修されて今日に至っており、現在でも中華民国（台湾）總統が公務を行う總統府として活用されている上、台湾の古跡としても保存されている。

總統府は、平日の午前中と、不定期の終日に一般公開されており、内部を見学することができる。身分証明のためのパスポートが必要。

平日の公開は午前 9 時から正午まで。日本語・中国語・英語のツアーガイドが付き、パネルを使って總督府の歴史を解説してくれる。見学は 1 階のみで、予約不要。

終日公開の日程は總統府の公式サイト上に掲載されており、午前 8 時から午後 4 時まで。見学は全階可能で、撮影もできる。予約の必要はない。

中華民国總統府 ほかに官房機構として国家安全會議、国家安全局

總統、副總統、秘書長、副秘書長、第 1 局、第 2 局、第 3 局、機要室、侍衛室、公共事務室、人事処、會計処、資政、国政顧問、戰略顧問

台湾總督府

設置 明治 28(1895)年 6 月 17 日

廃止 昭和 24(1949)年 6 月 1 日

組織 内部部局 総督官房・文教局・財務局・鉱工局・農商局・警務局・外事部・法務部
所属官署 法院・供託局・交通局・港務局・専売局・気象台(昭和 20/1945 年当時)

所在地 台北州台北市文武町一丁目

台湾總督府庁舎

階数 6 階

高さ (タワー)60 メートル

着工 1912 年 6 月 1 日

竣工 1919 年 3 月 31 日

工費 280 万円

所在地 台北市中正区重慶南路 1 段 122 号(博愛特区)

